

一般社団法人滋賀グリーン購入ネットワーク 2017年度 事業計画書

I 基本方針

2017年度からの新活動ビジョンに基づき、子や孫の世代まで幸せや豊かさを実感できる安全・安心な環境の創造を、市場を通して実現することを目指し、会員連携で各種の事業に取り組みます。

2017年度は、会員をはじめとする事業者の取り組み促進に加えて、一人ひとりの「環境に配慮した暮らし」に向けた取り組みを促進するために、会員が連携して従業員への普及啓発を行う活動に注力していきます。また、一層の会員の交流・連携を図るために研究会活動の活発化を図り、研究会活動を通して企業における生物多様性保全の取り組みや、食のグリーン購入の取り組み等を推進します。

さらに、2年後の2019年に設立20周年を迎えるにあたり、20周年事業部会を立ち上げて記念事業の企画検討を開始します。

ビジョン： 滋賀から「グリーン経済」をつくる

～子や孫の世代まで幸せや豊かさを実感できる安全・安心な環境の創造を、
市場を通して実現していく～

ミッション：

A. 事業者の環境行動の水準を高める

- ・グリーン購入を実践する事業者を増やす
- ・環境に配慮した商品・サービスの提供者を増やす
- ・事業者の環境活動を支援する

B. 会員の想いと活動をつなげる

- ・会員に活動への参加を促す
- ・会員の交流の場を提供する
- ・会員相互の連携を促す

C. 環境に配慮した暮らしを広める

- ・消費者にグリーン購入の意義を広める
- ・グリーン購入を実践する消費者を増やす
- ・会員事業所の従業員にグリーン購入を普及させる

D. 未来に向けて活動を深める

- ・グリーン購入推進への政策提言を行う
- ・同じ目的を持つ他団体との連携を深める
- ・ビジョン実現のために組織運営を強化する

II 事業計画

1. 実践促進事業 ～事業者の環境行動の水準を高める～

「グリーン購入フォーラム」、「自治体のグリーン購入担当者連絡会議」等の開催により、事業者のグリーン購入実践を促進します。今年、第20回を迎えるびわ湖環境ビジネスメッセでは、記念大会にふさわしい拡大版「グリーン購入フォーラム」を近隣府県の関係団体との共催で開催します。毎年10月に実施している「グリーン購入キャンペーン」は担当部会を立ち上げて内容の充実に努め、大学等への会員講師の派遣・紹介により会員の活躍の場づくりにも努めます。

- 1) グリーン購入フォーラム (10月19日)
- 2) グリーン購入キャンペーン (事業者対象)
- 3) GPプラン滋賀支援プログラムや大学講義等への会員講師の派遣
- 4) 自治体のグリーン購入担当者連絡会議
- 5) 自治体のグリーン購入取組アンケート調査
- 6) 会員証の発行

2. 連携推進事業 ～会員の想いと活動をつなげる～

公開シンポジウムでは、先進事例の報告と意見交換を通して新たな連携・協働事業について考えます。現在5つある研究会の活動を支援し、活動成果を公表する等PRにも努めます。また、びわ湖環境ビジネスメッセでは「20回記念公式エコバッグ事業(仮称)」を通して、より省資源な大会となるよう提案していきます。

さらに、滋賀GPNが2年後の2019年に設立20周年を迎えるため、今年度中に20周年事業部会を立ち上げ、記念事業の企画検討を開始します。

- 1) 公開シンポジウム (6月2日)
- 2) 会員交流会 (6月2日)
- 3) ワーキンググループ(研究会)支援
 - ・食のグリーン購入研究会
 - ・MORIと暮らしの研究会
 - ・ゼロエミ研究会
 - ・生物多様性と環境・CSR研究会
 - ・エコ通勤研究会
- 4) 「びわ湖環境ビジネスメッセ」出展 (10月18日(水)～20日(金))
- 5) びわ湖環境ビジネスメッセ20回記念公式エコバッグ事業(仮称)
- 6) 「会員発いちおしグリーン商品リスト」発行
- 7) 設立20周年記念事業の企画検討

3. 暮らし方普及事業 ～環境に配慮した暮らしを広める～

グリーン購入啓発イベント「三方よしエコフェア」は、食品ロス削減をテーマに掲げます。「グリーン購入キャンペーン」では、会員事業所の従業員が個人として参加する一斉行動を呼びかけます。また、自治体連携「『買うならエコ!』リレー」実施や地域事業への参加等を通して、グリーン購入の実践や食品ロス削減等「環境に配慮した暮らし方」の普及拡大に努めます。

- 1) 三方よしエコフェア (12月9日)
- 2) グリーン購入キャンペーン(個人対象)
- 3) びわ湖一周「買うならエコ!」リレー(県内全自治体連携)

- 4) 啓発資材の作成、貸出
- 5) 地域事業等への協力・参加、出前講座の実施
- 6) 地域の関係団体との連携
 - ・買い物ごみ減量推進フォーラムしが
 - ・滋賀・びわ湖ブランドネットワーク
 - ・滋賀プラス・サイクル推進協議会
 - ・マザーレイクフォーラム
 - ・近江地域学会 等

4. 情報提供・企画事業 ～未来に向けて活動を深める～

会員のグリーン購入取組状況、環境配慮型の商品やサービスの先進事例、国、県や市町の動向等の情報収集に努め、メルマガやニュースレター、ホームページ等を通じて、情報提供を行います。また、入会案内パンフレットの作成・配布を通して、グリーン購入普及啓発に取り組むと共に会員拡大を図ります。

- 1) ニュースレター 2回発行
- 2) メルマガ・FAX リリース 12回発行
- 3) ホームページ 随時更新
- 4) GPN「全国フォーラム」等への参加
- 5) 入会案内パンフレット作成

5. GPプラン滋賀登録制度推進事業【県受託】

中小企業者のグリーン購入の取り組みを促進する「グリーン購入実践プラン滋賀登録制度（略称：GPプラン滋賀）」は、滋賀県との協働連携により滋賀GPNが運営しています。登録者支援プログラムとして開催する「グリーン購入実践講座」には、滋賀GPN会員も講師として登壇し、様々な角度から取組事例を報告します。

登録事業者は、2017年5月23日現在で193団体です。

- 1) 登録受付、登録証発行、登録者管理、登録者の実践支援
- 2) 「登録証交付式」 年1回開催
- 3) 「グリーン購入実践講座」 年8回開催
- 4) 「グリーン購入基礎研修会」 年4回開催
- 5) 「個別ヒアリング」「訪問ヒアリング」等の実施
- 6) ホームページ管理、パンフレット作成、説明会開催等による制度の広報活動 等

2017年度収支予算書

収入の部

(単位:円)

科 目	2017年度予算額	前年度 当初予算額	増減	2017年度予算額の内訳
受取会費	5,110,000	5,210,000	▲ 100,000	正会員会費 (474団体分) 5,050,000 賛助会員会費 (20名分) 60,000
受取補助金	1,900,000	1,900,000	0	県 滋賀GPN補助金 1,900,000
事業収益	3,526,200	1,617,800	1,908,400	メッセエコバッグ事業収入 2,000,000 講師謝金等 250,000 エコフェア協賛金 380,000 協賛バナー広告 648,000 チラシ同封サービス・NL購読費他 248,200
受託金	5,340,000	5,190,000	150,000	グリーン購入実践プラン滋賀 4,990,000 メッセ主催セミナー 350,000
受取寄付金	200,000	40,000	160,000	
雑収益	3,800	4,153	▲ 353	
買うエコ大賞事業 準備金取崩	0	300,000	▲ 300,000	
前年度繰越金	200,000	968,047	▲ 768,047	
収入合計	16,280,000	15,230,000	1,050,000	

支出の部

(単位:円)

科 目	2017年度予算額	前年度 当初予算額	増減	内 訳
事業費	11,890,000	10,330,000	1,560,000	実践促進事業 613,000 連携推進事業 2,960,000 (内メッセエコバッグ事業 2,000,000) 暮らし方普及事業 1,500,000 情報提供・企画事業 1,477,000 グリーン購入実践プラン滋賀 4,990,000 メッセ主催セミナー 350,000
管理費	3,717,800	3,700,000	17,800	給料手当・法定福利費等 2,204,000 事務所費等 870,000 旅費・通信運搬費・消耗品費等 628,800 全国ネットワーク会費 15,000
租税公課	72,200	350,000	▲ 277,800	
事業引当金	300,000	300,000	0	買うエコ大賞事業積立金 300,000
予備費	300,000	550,000	▲ 250,000	
支出合計	16,280,000	15,230,000	1,050,000	

20周年記念事業積立金合計額	1,600,000円
買うエコ大賞事業積立金合計額	300,000円